

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [寝屋川市立友呂岐中学校] 担当教諭名 [細田 英美] (3年生国際理解チームと美術部)

交流相手国 [ウガンダ]

海外学校名 [Kijjabwemi Secondary School] 担当教諭名 [Kalwany Yasin / 水谷 元彦(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	日本・ウガンダについて調べてみよう。 (お互いの民族について調べよう)	20
	部活動	日本の民族について伝えよう。	40

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	ウガンダの民族・日本の民族
絵に込めたメッセージ	ウガンダにもいくつかの民族があり、日本にも「日本人」と一言で言い切れない民族の違いがあります。アイヌ民族、大和民族などのその違いを知り、それぞれの良さを理解し、お互いの文化、習慣を大切にしていこう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 自分と違う文化や人種についての理解 自分で課題を見つけ、調べ学習をする習慣 母国語以外を使用して、コミュニケーションを図る楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間との係わりでの作業時間確保や生徒の活動時間の確保。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 世界で色々なことが起きていることに驚いていた。 自分達が当たり前と思っていることが、そうでない人たちも居ることに驚いていた。 	<p>アートマイルに取り組んで8年位になるが、毎回色々なアクシデントがありながらも、出来あがって来る作品が楽しみだ。今回は初めてのアフリカ大陸の学校であったが、改めて文化や習慣の違いを感じたが、生徒たちの新しいものを吸収する力や学びとる力を感じた。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	10月	・フォーラムやTV会議を通してお互いの自己紹介をした。	・英語での自己紹介を楽しんで行っていた。	総合10
テーマ学習	10月	・ウガンダについて、日本の民族(沖縄の文化、大和文化、アイヌ文化)について調べる。	・日本の文化についても知らなかったことが多く、新しい発見に驚いていた。	総合15
構図決定	11月	・TV会議やフォーラム、メール等で連絡を取り合い、構図の決定をした。	・色々な構図の案を出しながら、検討していった。	部活動 5
壁画制作	12月	・クラブに活動内容が移り、調べ学習から得た資料を参考に壁画制作に取り組んだ。	・ここ数年クラブの活動の一つ、先輩から受け継いだ制作活動として楽しみながら絵を描いていた。	部活動 28
鑑賞・振り返り	3月	・修了式で発表、紹介をする。	・クラブの生徒たちは、満足感を味わっていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	調べ学習の中で、得た知識をお互いに楽しそうに、あるいは自慢げに紹介合っていた。
異文化の理解	A	5	知らなかったことの多さや意外性にグループ同志で話し合い、生き活きと新聞制作に取り組んでいた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	TV会議を通して、お互い自己紹介をする中でどのように英語で紹介するのかを真剣に英語の先生を中心に考えていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	調べ学習での成果を、新聞という形で発表した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	3	小さなグループでの活動にとどまったので、広く人間関係を作るところまではいかなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	3	調べ学習での結果を協力して、一枚の新聞やビデオ制作で協力した。
学習を追究する意欲	B	3	深く自らどんどんと調べていこうという姿勢には欠けていたように思う。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	美術部での表現活動で、先輩たちから受け継いだ伝統として色々と表現方法など工夫していた。
作品を鑑賞する力	A	3	お互いに何を表現したのかを交流する時間がなかったのが、残念だった。